

特ラ機構レポート No.207

令和 7 年 11 月 1 日

令和 7 年度 第 3 回 理事会 報告	2
運用連絡受信数と調整のための送信数	8
特定ラジオマイクが運用された主なイベント ..	10
新規加入会員紹介コーナー	11
イベント情報	13
第 26 回 特ラ機構技術賞募集	14
ちょっとブレイク	15
東京 2025 世界陸上競技選手権大会における ラジオマイクの運用状況のご報告 ..	17
『EXPO 2025 大阪・関西万博』 終了に際しての報告と御礼 ..	20
無線局免許状のデジタル化について	21
モータースポーツ無線協会からのご報告とお願い	25
事務局 便り	27

[理事会報告] 令和7年度 第3回 理事会

1. 日 時 令和7年 10 月 15 日(水) 15 時～ 17 時

2. 場 所 「中野セントラルパークサウスカンファレンス」 ルーム 1

3. 出席者 (理事長・理事・監事総数 20 名)

出 席 [理事長] 渡邊邦男

[理 事] 岩井佳明, 上田好生, 大塚 豊, 小野良行, 金光浩昭, 古藤 崇,
小林 敬, 鈴木久利, 長屋義昭 (竹中裕子), 本間俊哉, 吉田諭敏

[監 事] 伊藤 博, 國枝義久

委任出席 [理 事] 池上行大, 川瀬健児, 北口紀雄, 瀬谷正夫, 萩原桂吾, 右田研介

4. 令和7年度 第3回理事会 開催挨拶

皆様、本日は令和7年度第3回理事会にご参加いただき誠にありがとうございます。

理事会開催の前に、9月16日(火) から特ラ機構事務局へ入局した新しいスタッフをご紹介します。
いただきます。木村、神守のもとで会計と総務を担当する「田山麻衣美 (たやま まいみ)」さんです。
田山さん、ひと言挨拶をお願いします。

【田山挨拶】

皆様、初めまして。「田山麻衣美」と申します。

仕事の方はまだ慣れてないところも多いのですが、頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

5. 議 題

【報告事項】

(1) 運用連絡と調整の近況について

a. 運用連絡数の推移 b. イベント報告 c. 干渉報告

⇒以上の資料について質問・意見を募ったが特になかった。

(2) 各委員会報告

① 賛助委員会

今期、賛助委員会の開催はなかった。

② 技術委員会

今期、技術委員会の開催はなかった。

③ 特ラ機構 技術賞委員会

第 26 回特ラ機構技術賞の作品募集について、令和 7 年 10 月 1 日(水)より受付を開始した。募集のお知らせを同日に特ラ機構 Web サイトに掲載した。今後の予定としては特ラ機構レポート第 207 号にて募集記事を掲載するとともに、各会員へ告知メールを一斉送信する予定。告知については応募締切(令和 8 年 3 月 31 日)まで継続しておこなう予定。

④ 編集委員会 特ラ機構レポート

第 110 回編集委員会は、令和 7 年 9 月 9 日(火)に当機構事務局にて開催した。出席者は 4 名。206 号を振り返って反省点等を確認したほか、207 号への掲載記事の検討、記事作成分担をおこなった。206 号は、令和 7 年 8 月 28 日(木)に発送済。207 号は 10 月下旬に発送予定となっている。内容は、理事会報告、新規加入会員紹介、大阪万博報告、ちょっとブレイクなどを掲載予定。

(3) 総務省関係、ARIB 関連の報告

① 各総合通信局関連

令和 7 年 10 月 1 日(水)から「無線局免許状」がデジタル化されることに伴い、当機構がその対応をするにあたって、各総合通信局から情報提供や助言をいただいた。また、併せて変更点の確認などもさせていただいた。その他、今期も免許申請や変更申請等において、各総合通信局にはアドバイスやご協力をいただいている。

② ARIB 関連

今期、関係する会議等の開催はなかった。

(4) 無線局免許状のデジタル化について

令和 7 年 10 月 1 日(水)、「無線局免許状」がデジタル化された。従来は総務省から紙の免許状が交付され、これを備付ける必要があったが、デジタル化により各会員が「総務省電波利用電子申請」のアカウント登録をすることによって、パソコンやタブレット上に電子免許状(免許記録)を必要に応じて表示する方法となった。また、従来どおり、紙の証明書「免許事項証明書」の交付を希望することもでき、こちらはアカウント登録が不要となる。

なお、既に手持ちの免許状については、10 月 1 日の施行日以後、「免許事項証明書」とみなされるので、特段の手続きをおこなわなくても、引き続いて特定ラジオマイクを運用できる。

本件については、令和 7 年 9 月 18 日(木)に各会員の運用担当者へ一斉メールにてお知らせしたほか、当機構 Web サイトや「X」でも告知をおこなった(免許状のデジタル化について、詳しくは 21 頁「無線局免許状のデジタル化について」を参照)。

今回の免許状のデジタル化によって、総務省関係の料額が変更となったので、当機構の「入会金及び会費規約」についても当該部分を改定したい。

(5) 電波利用料の改定について

国へ納める電波利用料は、総務省が 3 年以内をめどに見直しをおこなっている。令和 7 年はその年にあたり、特定ラジオマイクに関する電波利用料も 10 月 1 日(水)から表 1. 表 2. (6 頁)のとおり改定された。

本件については、令和 7 年 9 月 12 日(金)に各会員の運用担当者へ一斉メールにてお知らせしたほか、当機構 Web サイトや「X」でも告知をおこなった。

(6) TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会 (WS 協議会)

① 統合 DB 作業班

今期、DB 作業班の開催はなかったが、10 月下旬には令和7年度下期ならびに令和8年度上期の改修に関する協議をおこなう予定。

② 幹事会

今期、幹事会は開催されなかった。

③ WS 協議会負担金の支払い状況

令和7年度の WS 協議会負担金（既存会員分の運用調整費）について、WS 協議会側と確認作業を完了し、合計 29,851,200 円となった。また、令和7年度第1四半期の WS 協議会負担金（新規分の登録費・運用調整費）についても確認作業を完了し、合計 578,800 円となった。

それぞれについて、令和7年9月1日(月) に支払い済みとなっている。

(7) チャンネルリストについて (令和7年8月1日～令和7年9月30日)

令和7年8月12日(火)、総務省関東総合通信局ならびに九州総合通信局を通じて、TVWS チャンネルリストの新規検討を申請した。

同、新規件名は8月26日(火) にシステム登録を完了した。

令和7年9月3日(水)、総務省関東総合通信局ならびに四国総合通信局を通じて、TVWS チャンネルリストの新規検討を申請した。

同、新規件名は9月29日(月) にシステム登録を完了した。

<新たに追加された施設>

境リバーサイドパーク、有明 GYM-EX、(仮称) Walk プロジェクト、Entertainment Harajuku Project、TOYOTA ARENA TOKYO、東京ドリームパーク、(仮称) ホリプログループ新社屋建設プロジェクト、shibuya LOVEZ、成田ヒルズカントリークラブ、四万十市総合文化センター(しまんとぴあ)

<変更修正された施設>

ホテルナゴヤキャッスル	⇒ エスパシオ ナゴヤキャッスル
イオンモール利府	⇒ イオンモール新利府(北館)
ホテル日航八重山	⇒ アートホテル石垣島
ホテル日航那覇グランドキャッスル	⇒ ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城
ムーブ 21	⇒ 守口市立図書館
ジャングリア	⇒ 住所表示修正

(8) 情報通信月間推進協議会報告

令和7年8月19日(火)、「令和7年度情報通信月間 特ラ機構セミナー」(令和7年7月15日実施)について、協議会事務局へ「行事実施報告書」と「行事決算報告書」を提出した。
なお、令和7年8月29日(金)、同事務局から援助金の振り込みがあった。

(9) 令和7年度の再免許手続き

令和8年5月31日(日)に有効期限を迎える無線局の再免許(免許更新)手続きは351会員、6,700局を予定している。申請の案内は11月中旬までには送付する予定。

また、無線局免許状のデジタル化が令和7年10月1日(水)より実施されたが、今回の再免許申請について、事前に「総務省電波利用電子申請」のアカウントを取得されている会員については、電子免許状にて交付されるよう申請する予定。

(10) 地上4K・8Kデジタル放送の実験試験局運用について

今期(令和7年8～9月)の実証実験について、8月が名古屋・三重地区、9月は三重地区のみで実施された。

実験に使うTVchにて特定ラジオマイクの使用を希望する運用連絡について、8月の名古屋地区で2件あったが、それぞれ対応をおこなった。今後の実験スケジュールについては確定し次第、特ラ機構 Web サイト、特ラ機構レポートにて告知をおこなっていく。

(11) 短信、その他

① 名簿作成(名簿データ確認)にご協力を

令和7年度名簿データ調査用紙について、令和7年10月10日(金)に全会員へ送付した。また、各放送局へは当機構の窓口となる担当者の調査用紙を送付する予定。

② 2025 大阪・関西万博に関して

「2025 大阪・関西万博」は、令和7年4月13日(日)から10月13日(月)にかけて、大阪・舞洲(ゆめしま)にて開催され、184日間の賑わいを終えて閉会した。

開催中の電波調整へのご協力に心より感謝申し上げます。

次号の『特ラ機構レポート』では、会期中のラジオマイクの運用調整を担った、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会ICT局様に寄稿していただく予定。

③ 楽天モバイル株式会社 700MHz 帯利用に向けた今後の対応に関して

令和7年8月7日(木)、8月21日(木)、9月4日(木)、楽天モバイルPG会合に、甲田テクニカルチーフが参加した。同会合には随時、渡邊理事長もWebにて参加した。

『固定会員295施設へのアンケート調査について』

令和7年8月19日(火)、特定ラジオマイク専用帯(711～714MHz)を使用できる送信機を所有する当機構の固定会員(全国295施設)に向けて、楽天モバイル株式会社と当機構の連名にて、専用帯の利用実態に関するアンケート調査をおこなった。

9月19日(金)現在、約60%の回答を得ているが、まだ回答されていない施設については、早期に同帯域の利用状況を楽天モバイル株式会社宛てまでご連絡いただくようお願いしている。

④ 小電力デジタル説明会について

TVWS 帯デジタル特定ラジオマイクの新しい運用ルール「小電力デジタル(LPD)」について、令和7年8月28日(木)、Web上にて説明会をおこなった。当日の参加者は23名だった。

当機構会員が小電力デジタルの運用を希望する場合、新たなルールを理解して法令を遵守することが求められることから、原則として、当該会員の運用調整担当者が本説明会に参加して、許可を得た上で運用する必要がある。

今後、会員の希望なども考慮しつつ、適宜、説明会を実施する予定。

⑤ MOTO GP 2025

令和7年9月26日(金)～28日(日)の3日間、「モビリティリゾートもてぎ」(栃木県芳賀郡茂木町)において「MOTO GP 2025」が開催された。

モータースポーツ無線協会(MoSRA)様より依頼を受け、当機構会員である株式会社共立様と連携し、イベントステージでの運用周波数の配分をおこなった。

(12) 令和7年度上半期収支報告

機構の会計状況は順調に推移している。上半期収支計算書を基に、令和7年度半期の傾向を報告した。

⇒ ここまでの報告事項について質問・意見を募ったが特になく、承認を受けた。

【改定電波利用料表】

表1

周波数帯	改定前の利用料	改定後の利用料
TVWS 帯 (470 ～ 710MHz)	400円	300円
特定ラジオマイク専用帯 (710 ～ 714MHz)	400円	300円
TVWS 帯+特定ラジオマイク専用帯 (470 ～ 714MHz)	700円	700円
1.2GHz 帯 (1240 ～ 1252MHz、1253 ～ 1260MHz)	700円	700円

※1局あたりの料額です

4波同時送信可能なイヤーマニター (SHURE AXT Digital PSM シリーズ「ADTQ」など)

表2

周波数帯	改定前の利用料	改定後の利用料
TVWS 帯 (470 ～ 710MHz)	700円	700円
TVWS 帯+特定ラジオマイク専用帯 (470 ～ 714MHz)	1,400円	1,200円
1.2GHz 帯 (1240 ～ 1252MHz、1253 ～ 1260MHz)	700円	700円

※1局あたりの料額です

6. [審議事項]

(1) 会員の入退会 令和7年8月～令和7年9月分

[入 会]

関 東：トヨタアルパルク東京株式会社 (TOYOTA ARENA TOKYO),
株式会社朝日ビルディング (朝日ホール), 川本 七平,
吉本興業株式会社 (YOSHIMOTO ROPPONGI THEATER), 栗原 和弘,
株式会社アイネクスト, 株式会社ラップ, 三谷 晃子, 有限会社横浜舞台
東 海：有限会社文化音楽クリエイト,
エスパシオエンタープライズ株式会社(エスパシオ ナゴヤキャッスル 2F 天守の間)
近 畿：株式会社 ongaq (大阪・関西万博 クウェートパビリオン)
四 国：観音寺市 (観音寺市民会館)
九 州：株式会社オフィス・ユニオン

[退 会]

関 東：株式会社明治座 (台東区立浅草公会堂)
近 畿：吉本興業株式会社 (よしもと祇園花月)

(2) 会員数

令和7年9月末現在 1,710 会員

(3) 無線局数

令和7年9月末現在 51,246 局

(内 訳)

< 470 ～ 714MHz >

ラジオマイク	35,414 局 (アナログ：23,331 局, デジタル：12,083 局)
イヤモニ	2,791 局 (アナログ：2,769 局, デジタル：2局, アナ&デジ：20 局)

< 1.2GHz 帯 >

ラジオマイク	13,014 局 (アナログ：726 局, デジタル：12,288 局)
イヤモニ	27 局 (アナログ：10 局, デジタル：0 局, アナ&デジ：17 局)

合 計	51,246 局 (アナログ：26,836 局, デジタル：24,373 局, アナ&デジ：37 局)
-----	--

以上

(3) 事務所の移転について

理事会資料 R7-3-04 [審議書] に沿って、事務局の現況を報告、今後の展開を見据えての事務所移転についての希望を提議、審議をお願いした。

⇒ 以上の審議事項について質問・意見を募ったが特になく、満場一致の承認を得た。

運用連絡受信数と調整のための送信数

2025 年 8 月～ 9 月

I . 運用連絡受信数：月別の推移

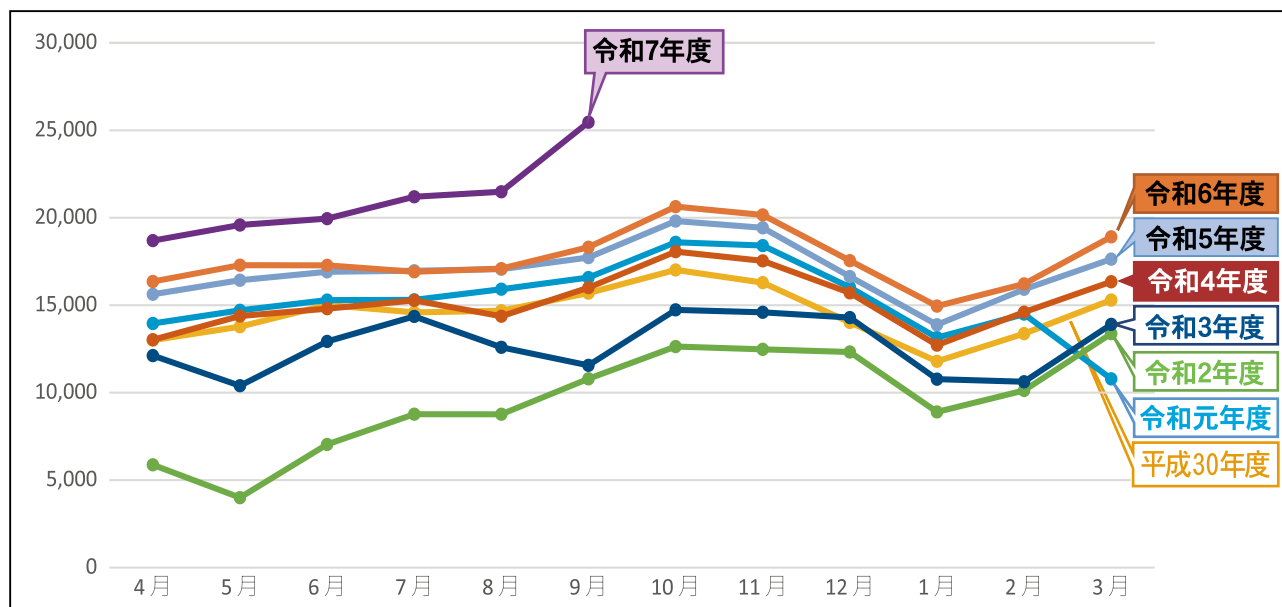
表 -1 各年度 運用連絡受信数（月別の比較）

この表における 数値のアンダーラインは月ごとの最大値

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年 計	月平均
H30 年度	13,007	13,770	15,012	14,591	14,685	15,690	17,014	16,290	14,013	11,792	13,374	15,294	174,532	14,544
R 元年度	13,954	14,708	15,290	15,302	15,914	16,577	18,593	18,407	16,023	13,146	14,491	10,788	183,193	15,266
R2 年度	5,875	3,996	7,038	8,769	8,766	10,791	12,634	12,475	12,324	8,896	10,125	13,374	115,063	9,589
R3 年度	12,118	10,396	12,929	14,358	12,593	11,560	14,734	14,594	14,292	10,771	10,622	13,902	152,869	12,739
R4 年度	13,023	14,383	14,801	15,274	14,367	16,003	18,061	17,533	15,703	12,715	14,601	16,341	182,805	15,234
R5 年度	15,624	16,427	16,906	16,969	17,057	17,723	19,810	19,423	16,635	13,879	15,908	17,633	203,994	17,000
R6 年度	16,353	17,287	17,279	16,909	17,089	18,314	20,633	20,161	17,546	14,950	16,217	18,908	211,646	17,637
R7 年度	18,692	19,582	19,946	21,198	21,484	25,459								

受信数：前年比 1.14 倍 1.13 倍 1.15 倍 1.25 倍 1.26 倍 1.39 倍 1.04 倍 1.04 倍 1.05 倍 1.08 倍 1.02 倍 1.07 倍 1.04 倍

各年度 月別「運用連絡受信数」折れ線グラフ



【表と折れ線グラフについて】

今年度からⅠの表と折れ線グラフを、「各年度別の運用連絡：受信数」に変更しました。
それに伴い、2014 年の周波数移行開始時から掲載してきた「運用連絡と調整の総件数」は、
下段Ⅲに表のみを掲載しています。

I . 表と折れ線グラフから運用連絡受信数を比較する

- (1) 当期受信数を令和 6 年度と比較すると 4 月から順調な伸びを示し、8 月 9 月とも過去最高の受信数を記録した。

Ⅱ . 当期の運用連絡受信数調整の送信数を前年度と比較する

(1) 1 か月単位の受信数 (1a) および送信数 (1b) で、当期の 8 月と 9 月を振り返る

【受信数】 8 月が 4,395 件増の 21,484 件 (1.26 倍)、9 月は 7,145 件増の 25,459 件 (1.39 倍) となった。

【送信数】 8 月が 11,706 件増の 35,551 件、9 月は 17,145 件増の 45,788 件となった。

Ⅱ . (1a) 1 ヶ月間の受信数												
令和 7 年度	2025 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2026 年 1 月	2 月	3 月
前年	16,353	17,287	17,279	16,909	17,089	18,314	20,633	20,161	17,546	14,950	16,217	18,908
当年	18,692	19,582	19,946	21,198	21,484	25,459						
増減	+2,339	+2,295	+2,667	+4,289	+4,395	+7,145						

Ⅱ . (1b) 1 ヶ月間の送信数												
令和 7 年度	2025 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2026 年 1 月	2 月	3 月
前年	19,717	23,338	22,831	22,375	23,845	28,643	25,974	25,770	22,989	19,504	20,476	25,610
当年	24,987	25,037	26,570	32,371	35,551	45,788						
増減	+5,270	+1,699	+3,739	+9,996	+11,706	+17,145						

(2) 2 か月間の受信数 (2a) および送信数 (2b) を各々の前年と比較する

【受信数】 8 月 + 9 月の受信数は前年比、11,540 件増の 46,943 件となった。

【送信数】 8 月 + 9 月の送信数は前年比、28,851 件増の 81,339 件となった。

Ⅱ . (2a) 2 ヶ月間の受信数		
令和 7 年度	(6 月 + 7 月)	(8 月 + 9 月)
前年	34,188	35,403
当年	41,444	46,943
増減	+6,956	+11,540

Ⅱ . (2b) 2 ヶ月間の送信数		
令和 7 年度	(6 月 + 7 月)	(8 月 + 9 月)
前年	45,206	52,488
当年	58,941	81,339
増減	+13,735	+28,851

Ⅲ . 各年度の月別「運用連絡と調整の総件数」から、2 ヶ月間を比較

(1) 2 ヶ月間の運用連絡と調整の総件数

総件数 2 ヶ月間 (8 月 + 9 月) の合計は、前年比 40,391 件増の 128,282 件となっている。

(2) 【運用連絡受信数に対する 調整のための送信数の比率】

8 月 + 9 月の平均比率は 1.73 倍となっている。

Ⅲ . 2 ヶ月間の総件数を比較		
令和 7 年度	2025 (6 月 + 7 月)	2025 (8 月 + 9 月)
前年	79,394	87,891
当年	100,085	128,282
増減	+20,691	+40,391

2 ヶ月間の総件数と送信比率		
令和 7 年度	2025 (6 月 + 7 月)	2025 (8 月 + 9 月)
a: 受信数	41,144	46,943
b: 送信数	58,941	81,339
a+b: 総件数	100,085	128,282
b/a 比率	1.43	1.73

各年度月別運用連絡と調整の総件数

表における 数値のアンダーラインは月ごとの最大値

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	月平均
R 元年度	31,172	34,184	35,213	37,136	40,348	40,598	50,306	44,561	<u>41,152</u>	32,302	35,054	<u>22,921</u>	444,947	37,079
R 2 年度	12,780	8,139	13,485	16,543	17,164	21,739	26,511	25,387	27,059	18,711	21,369	29,520	238,407	19,867
R 3 年度	25,753	21,727	28,067	33,609	39,896	28,938	31,758	29,970	32,419	24,898	23,774	34,194	355,003	29,584
R 4 年度	28,542	31,766	32,990	34,732	33,017	38,963	41,572	39,666	36,977	29,098	32,998	39,697	420,018	35,002
R 5 年度	35,629	37,617	38,656	37,804	39,047	41,695	<u>50,307</u>	45,091	39,103	32,497	<u>37,134</u>	41,509	476,089	39,674
R 6 年度	36,070	40,625	40,110	39,284	40,934	46,957	46,607	45,931	40,535	34,454	36,693	44,518	492,718	41,060
R 7 年度	43,679	44,619	46,516	53,569	57,035	71,247								
前年との差	+7,609	+3,994	+6,406	+14,285	+16,101	+24,290	-3,700	+840	+1,432	+1,957	-441	+3,009	+16,629	

Ⅳ．特定ラジオマイクが運用された主なイベント

(令和 7 年 8 月～9 月)

イベント名	日 程	施 設	運用社数	ブース数	マイク・イヤモニ			計
					TVWS	711-714	1.2GHz	
Google Cloud Next 2025 他 複合展 ※	8 月 5 日 ～ 8 日	東京ビッグサイト	12	13	14	1	65	80
JAPAN ドラッグストアショー ※	8 月 6 日 ～ 10 日	東京ビッグサイト	11	12	13	0	26	39
第 9 回 アフリカ開発会議 (TICAD 9) ※	8 月 20 日 ～ 22 日	パシフィコ横浜	5	6	4	0	56	60
浅草サンバカーニバル 2025 ※	8 月 30 日	浅草寺 周辺	12	10 チーム 1 中継 1 イベント	23	3	28	54
第 84 回全国産業安全衛生大会 他 ※	9 月 10 日 ～ 15 日	インテックス大阪	8	10	23	3	55	81
Tokyo Gendai 2025 他 イベント ※	9 月 11 日 ～ 15 日	パシフィコ横浜	5	4+1 取材	0	0	38	38
国際物流総合展 2025 ※	9 月 10 日 ～ 12 日	東京ビッグサイト	15	19	15	6	74	95
ネプコンジャパン【秋】 他 複合展 ※	9 月 16 日 ～ 19 日	幕張メッセ	11	15	12	0	51	63
ツーリズム EXPO 2025 ※	9 月 23 日 ～ 28 日	Aichi Sky Expo	15	20	56	5	56	117
TOKYO GAME SHOW 2025 ※	9 月 25 日 ～ 28 日	幕張メッセ	27	38+1 取材	193	11	132	336
Good Life フェア 日経・東証 IR フェア ※	9 月 26 日 ～ 28 日	東京ビッグサイト	7	11+1 取材	12	0	34	46

※ 周波数配分を実施したイベント

【周波数配分】

令和 7 年 9 月 25 日(木) ～ 28 日(日)、幕張メッセで開催された「TOKYO GAME SHOW 2025」での運用マイク局数は、TVWS 帯 14 社 21 ブース 204 局、1.2GHz 帯 13 社 17 ブース + 1 取材 132 局、合計 336 局となり、同施設における過去最多の周波数配分をおこなった。なお、ローパワーデジタル (LPD) の技術セミナーを受講された、株式会社アーチドゥーク・オーディオならびに株式会社 OUT LOUD FACTORY 様が担当された 3 ブース 32 局に関しては、アナログ TVch にてデジタル 10mW 運用の割り当てをおこなった。

V．干渉報告

令和 7 年 10 月 9 日(木)、株式会社イブトの荒野様から連絡があり、「東京ビッグサイトに開催中の『H.C.R2025 第 52 回国際福祉機器展』において、2 件の干渉があった」との報告を受けた。

- ① 10 月 8 日(水)、東京ビッグサイト「南棟 2F 会議室 B」で運用していた 1.2GHz 帯特定ラジオマイクのうち 2 波が干渉。
- ② 10 月 9 日(木)、東京ビッグサイト「南棟 4 ホール」で運用していた 1.2GHz 帯特定ラジオマイクのうち 2 波が干渉。

本催事においては、運用社数及び運用局数が規定のガイドラインを超えたため、事務局がチャンネルプランを作成して周波数配分をおこなっていた。

干渉した周波数は、以下のとおり。

呼称 1.2H-055	周波数	1254.375MHz
" 1.2H-103	"	1255.575MHz
" 1.2H-151	"	1256.775MHz
" 1.2H-199	"	1257.975MHz

荒野様へ確認したところ、他の運用会社は事務局が作成した周波数プランを基に正しく運用をおこなっていたため、現場での干渉の原因は分からなかった。

しかしながら上記の周波数のとおり、与干渉の周波数スパンがきれいに 800kHz の等間隔であることから、両日、東京ビッグサイト南棟・西棟周辺において、運用連絡票の提出のない 1.2GHz 帯の不法開設局の運用があったのではないかと考えられる。

新規加入会員紹介コーナー

令和7年8月～9月

関 東

会員番号 030-1305			固定会員
トヨタアルバルク東京株式会社（TOYOTA ARENA TOKYO）			
TVWS 帯	-	-	シュア…8局

会員番号 030-1306			固定会員
株式会社朝日ビルディング（朝日ホール）			
TVWS 帯	-	-	シュア…12局

会員番号 030-1307			固定会員
吉本興業株式会社（YOSHIMOTO ROPPONGI THEATER）			
-	-	1.2GHz 帯	シュア…14局

会員番号 030-1308			移動会員
川本 七平			
TVWS 帯	専用帯	-	WISYCOM…4局

会員番号 030-1309			移動会員
栗原 和弘			
TVWS 帯	専用帯	-	WISYCOM…4局

会員番号 030-1310			移動会員
株式会社アイネクスト			
-	-	1.2GHz 帯	パナソニック…2局

会員番号 030-1311			移動会員
株式会社ラップ			
TVWS 帯	専用帯	-	シュア…4局

会員番号 030-1312			移動会員
三谷 晃子			
TVWS 帯	専用帯	-	シュア…1局

関 東

会員番号 030-1313			移動会員
有限会社横浜舞台			
TVWS 帯	専用帯	1.2GHz 帯	ソニー…12 局 ゼンハイザー…4 局 シュア…12 局

東 海

会員番号 060-0169			移動会員
有限会社文化音楽クリエイト			
WS 帯	専用帯	-	シュア…12 局

会員番号 060-0170			固定会員
エスパシオエンタープライズ株式会社（エスパシオ ナゴヤキャッスル 2F 天守の間）			
-	-	1.2GHz 帯	シュア…15 局
【コメント】 2025 年 10 月にオープンした名古屋城と並び立つラグジュアリーホテル。 国内最大級のバンケットルームや 8 つのレストランを有し、歴史と伝統が織りなす、 唯一無二のデスティネーションホテルです。			

近 畿

会員番号 070-0379			固定会員
株式会社 ongaq（大阪・関西万博 クウェートパビリオン）			
WS 帯	-	-	シュア…4局

四 国

会員番号 090-0046			固定会員
観音寺市（観音寺市民会館）			
WS 帯	専用帯	-	シュア…12 局

九 州

会員番号 100-0127			移動会員
株式会社オフィス・ユニオン			
-	-	1.2GHz 帯	ソニー…4局

イベント情報

秋風が吹き始めるとビジネス関係の展示会が多く開催されますが、以前に比べると日曜日搬入や月曜日からの仕込みなどが最近多くなった様に感じています。

併せて金曜日の夜間から日曜日にかけての運用連絡票送付メールが増えておりますが、金曜日の夕方には各ブースでの周波数を配分しているケースも多々あり、お仕事が決まりましたら、急ぎ機材準備の前に運用連絡票をお送り下さい。

日 程	展 示 会 名	場 所
11 月 14 日～ 15 日	★アミューズメント EXPO 2025	東京ビッグサイト
11 月 19 日～ 21 日	★ Inter BEE 2025	幕張メッセ
11 月 19 日～ 21 日	★ JAPAN IT Week 関西 2025	インテックス大阪
12 月 3 日～ 5 日	第 47 回国際画像機器展	パシフィコ横浜
12 月 3 日～ 6 日	★ 2025 国際ロボット展	東京ビッグサイト
12 月 5 日～ 7 日	★第 13 回大阪モーターショー	インテックス大阪
12 月 27 日～ 31 日	★ COUNTDOWN JAPAN 25/26	幕張メッセ

★：複数会員社による同時使用実績あり

♪ ルールを守って クリアな運用 ♪

ちょっとブレイク原稿大募集！

皆様からの原稿をお待ちしております！今ハマっていること、お仕事のこと、大好きなアーティストのこと、ご当地自慢などなど・・・お題は自由です。

お名前を出したくない場合はペンネームでも OK です。

レポートに掲載させていただいた方には、些少ですが謝礼を差し上げております。

まずは下記アドレスまでお気軽にお問い合わせください。

Email : office@radiomic.org



第26回 特ラ機構技術賞 作品募集中

応募受付期間は 令和8年3月31日まで



特ラ機構技術賞ではワイヤレスマイクを使ったユニークな作品や研究・活動記録などをプロ・アマチュアから学生の方々まで広く募集します。

映画・番組収録・配信などの映像作品や演劇・音楽・イベントなどの舞台作品、さらに厳しい条件に対応した独自の運用手法や工夫など、アイデア溢れる作品をご応募ください。自薦・他薦は問いません。ふるってのご応募をお待ちしています。

主 催：一般社団法人 特定ラジオマイク運用調整機構

後 援：一般社団法人日本ポストプロダクション協会／協同組合日本映画・テレビ録音協会
公益社団法人日本舞台音響家協会／日本舞台音響事業協同組合（順不同）

詳細はこちらから <https://www.radiomic.org>

ちょっとブレイク

私の人生を変えてくれた「推し」の存在

私の人生を変えてくれたきっかけについて紹介させてください。

小学校6年生のときから、ジャニーズのグループ「Kis-My-Ft2」が大好きでした。

中学1年生のときには、ひとりで静岡から横浜アリーナまでライブを観に行き、それをきっかけに、遠征をして何度もライブに行くようになりました。CDやグッズはすべて揃え、キスマイが出演するテレビ番組は欠かさず録画するほどの“ジャニヲタ”になっていました。

ヲタ活を続けるなかで、もともと少し興味があつたテレビ業界への関心がどんどん強まりました。

そして中学2年生のとき、「いつかキスマイのメンバーが出演する映画やドラマの現場で働きたい!」と思うようになり、それが私の夢になりました。

そんな“ヲタ活”を通じて、ヲタク仲間もでき、毎日が楽しくなりました。

高校時代、友人関係に悩んだり、部活の成績が思うように伸びなかったとき、キスマイの曲を聴いたりすると気持ちがスッと落ち着いて、「また明日も頑張ろう」と思えました。



キスマイは、私にとって心の拠り所であり、どんなときも寄り添ってくれるような存在でした。

また、ただ「応援する側」でいることにとどまらず、「いつか彼らの作

品を裏方として支えたい」と思うようになったことが、私に夢や進路を考えるきっかけを与えてくれました。

その夢は高校生になっても変わらず、映画の単科大学である日本映画大学に進学しました。専攻は消去法で録音コースを選び、音について学んでいくうちに「フリーランスで録音部の仕事をする」という新たな目標もできました。

しかし、在学中に妊娠・出産・結婚を経験したことで、撮影現場に出ることが難しくなってしまう、夢の実現は一度ストップすることになりました。

そんな中、2年前に私の推しであった北山宏光さんがグループを脱退。これを機に、私もジャニヲタを卒業しました。

現在、北山さんは個人で活躍されています。そして私は、今年の3月に無事大学を卒業し、今は映像機材レンタルで働いています。子どもが大きくなったとき、もう一度撮影現場に戻れるように、機材についてもっと詳しく

くなりたいという気持ちを持ちながら日々頑張っています。

推しが脱退してからはライブに行かなくなっていたのですが、先日、久しぶりに6人体制になった Kis-My-Ft2 のライブに足を運びました。

6人になっても彼らの魅力は全く変わらず、とても楽しい時間を過ごすことができました。

ステージ上で頑張る姿を見て、「私も仕事も育児も、もっと頑張らなきゃなあ」と前向きな気持ちをもりました。

Kis-My-Ft2 は、メンバー全員の仲の良さが伝わってくるチーム感が魅力です。

バラエティ番組でも大活躍していて、トー

クやリアクションが面白く、見ていると自然と楽しい気持ちになります。

そんな“明るくてパワフルな存在”が、私の心の支えになっていたのだと思います。

今は放送が終わってしまいましたが、私は「キスマイ BUSAIKU ! ?」という番組が大好きでした。メンバーの素の一面や面白いリアクションを見ることができて、とても楽しい時間を過ごせたからです。

私はヲタクを卒業してしまいましたが、キスマイは今も変わらずテレビなど、たくさんのメディアで活躍しています。

頑張る続ける Kis-My-Ft2 の姿、ぜひチェックしてみてください！

(ペンネーム：あのん)



東京 2025 世界陸上競技選手権大会における ラジオマイクの運用状況のご報告

公益財団法人 東京 2025 世界陸上財団

令和 7 年 9 月 13 日から 21 日までの 9 日間、国立競技場（東京都新宿区）において開催されました『東京 2025 世界陸上競技選手権大会』（以下、「大会」）は、約 62 万人の観客にご来場いただき、大きな支障もなく、盛況のうちに終了することができました。大会の開催・運営にあたり、特定ラジオマイク運用調整機構および会員の皆様の多大なるご協力に対しまして、深く感謝申し上げます。

公益財団法人東京 2025 世界陸上財団（以下、「財団」）より、大会におけるラジオマイクの運用状況についてご報告いたします。

1 東京 2025 世界陸上競技選手権大会の概要

令和 7 年 9 月 13 日から 21 日までの 9 日間、約 200 の国と地域から、約 2,000 人のトップアスリートが東京・国立競技場に集い、49 種目の頂点、世界一をかけて戦いました。今大会では、世界新記録が 1 件、大会記録（タイ記録を含む）が 9 件樹立されました。世界中から熱い声援を送っていただき、大会全体の来場者数は 619,288 人を記録しました。まさに大会のモットーである「everysecond, “SUGOI”」が現実となりました。

2 ラジオマイクの運用状況

大会期間中、国立競技場内では、選手への取材やインタビュー等の目的で、ホスト放送局（1 社）および放映権を保有する国内外の放送局（8 社）がラジオマイクを運用しました。また、開閉会式の演出、競技中の会場音響、イベントプレゼンテーション、競技音声の収録のため、会場演出を担当するテクニカルサプライヤー（1 社）もラジオマイクを運用しました。

これらの運用にあたりましては、放送局やテクニカルサプライヤーからの申請に基づき、会場内での混信防止を目的とした周波数調整を財団が実施し、各利用者に割り当てました。

また、特定ラジオマイク運用調整機構様のご協力により、『特ラ機構レポート』に大会におけるラジオマイクの運用に関する周知記事を掲載いただき、円滑な運用調整や混信防止に努めました。

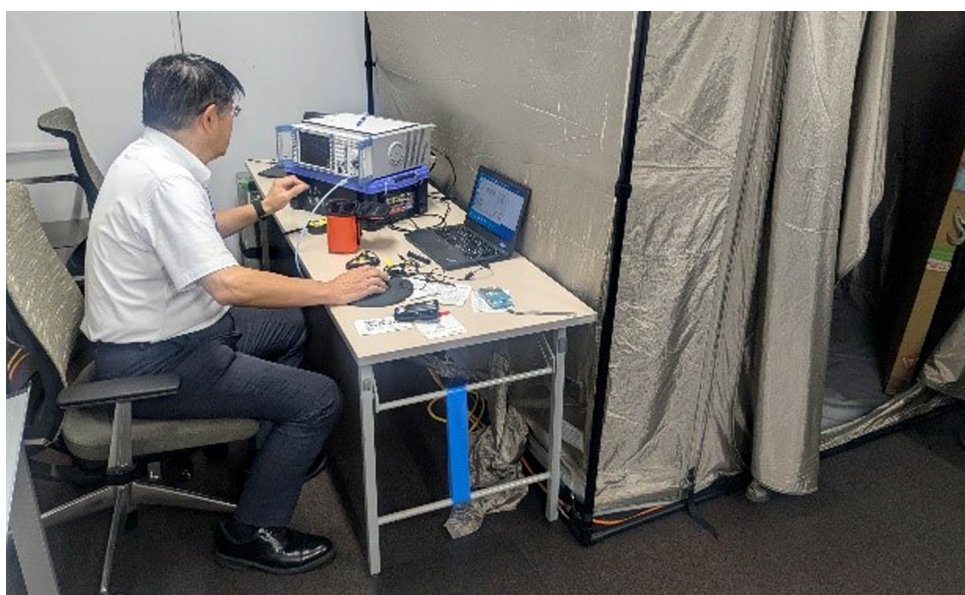
事前の周波数調整や会員の皆様との運用調整の結果、大会期間中にラジオマイクに係る問題は発生することなく、円滑に運用することができました。

3 海外持ち込みラジオマイクの免許取得

今大会では、東京 2020 大会等の国際スポーツ大会と同様に、放送局等から海外仕様のラジオマイクの使用要望が寄せられました。財団では、無線局免許申請、落成検査、免許取得等の手続きを実施しました。

このうち落成検査につきましては、東京 2020 大会と異なり、登録検査等事業者の協力を得て、国立競技場および東京体育館（東京都渋谷区）で検査をおこないました。

その結果、最終的に合計 41 局のラジオマイクについて財団が免許人となり、無線局免許を取得しました。



落成検査の様子

4 無線機器の持ち込み規制

大会期間中、会場内でラジオマイクをはじめとする無線機器を運用する際は、混信や違法電波の発生を防止するため、財団への事前申請および承認を必須としました。

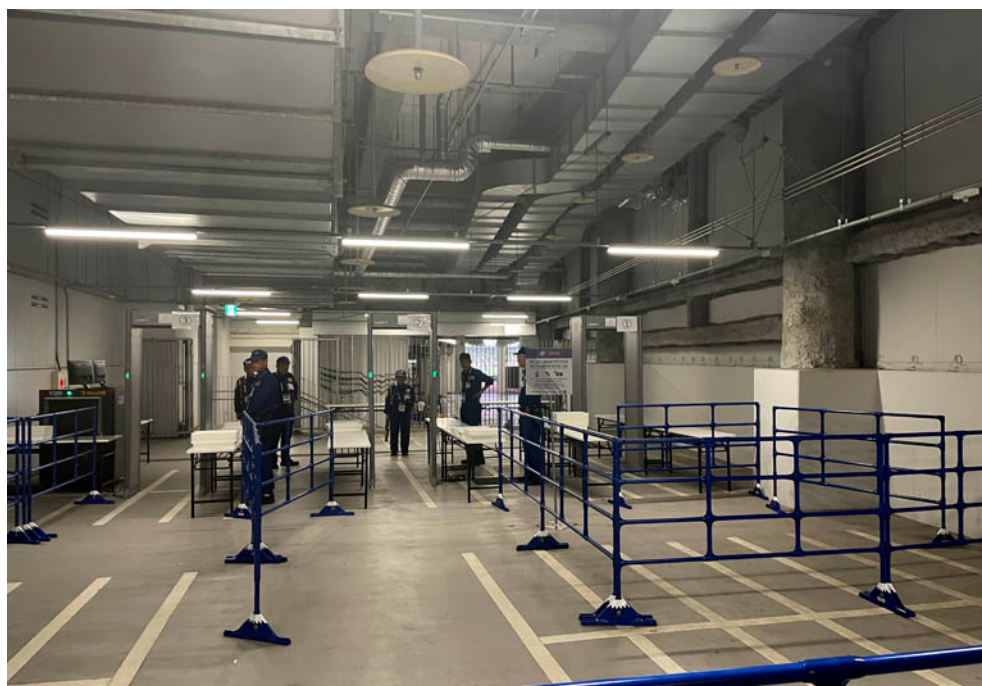
承認された無線機器については、財団が指定した周波数および出力で運用することを条件とし、識別用の承認タグ（ステッカー）を貼付して、手荷物検査の際に目視で未承認機器と区別できるよう対応しました。



承認タグ



入場口のサイネージ



入場時の手荷物検査

5 最後に

今大会では、特定ラジオマイク運用調整機構および会員の皆様のご理解とご協力、多大なるご支援により、トラブルなくラジオマイクを運用することができ、円滑な放送、取材、会場演出につながりました。これにより、今大会の結果や感動を国立競技場にご来場いただいた観客のみならず、全世界で視聴する多くの方々にリアルタイムでお届けすることができました。改めまして、関係する皆様に深く感謝申し上げます。

『EXPO2025 大阪・関西万博』終了に際しての報告と御礼

公益社団法人 2025 年 日本国際博覧会協会
ICT 局 ICT 部 審議役 ROC チームリーダー
石黒 丈博

このたびは、大阪・関西万博におけるワイヤレスマイクのご利用に際し、無線利用手続きや周波数調整等にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

大阪・関西万博の会場は、東京ドームの約 33 個分、USJ の約 3 倍の広さですが、会場内には 158 か国、9 国際機関の海外パビリオン、8 名のプロデューサーが主導するシグネチャーパビリオンをはじめとした国内パビリオンほか、数千を超えるナショナルデーなどのイベントが開催されるアリーナやホールなどの催事施設がありました。パビリオンや催事施設では連日多くのワイヤレスマイクが使用され、会場内を移動するパレードやテレビ中継などにおいても使用されていました。

また、ほぼ毎日のように開催されるイベントの内容は日々目まぐるしく変わり、担当する催事主催者も替わるため、それに合わせて持込まれるワイヤレスマイクの審査、周波数調整、タギングなどの業務に追われる日々でした。そのような中であっても電波を有効かつ効率的に使用していただくために、使用する周波数帯や小電力出力ワイヤレスマイクへの機器の変更等に快く応じていただいた催事主催者には感謝申し上げます。

海外パビリオンにおいては、自国からワイヤレスマイクなどの持込みが複数ありました。これらのワイヤレスマイクなどの中には、我が国の技術基準に合致しないため止むなく有線マイクへ変更をお願いした事例がありました。一方で、協会が無線局免許を代理で取得する事案があり、総務省近畿総合通信局のご協力もあって難なく使用開始日までに利用可能となるようご配慮いただいたことに感謝申し上げます。

また、万博のコンセプトである「未来社会の実験場」の一つとして、次世代のワイヤレスマイクの技術として注目されている WMA S (Wireless Multi-Channel Audio Systems) の実験試験局の無線局免許をメーカーに取得していただきました。それらを大阪・関西万博の会場にある海外パビリオンや催事施設などの複数のイベントにおいて試用し、検証をおこないました。実際に試された方々からは、機器はコンパクトになり、音質は良いなど非常に高い評価が得られました。早期に技術基準が策定され、今後の我が国のエンターテイメントなどの場で広く活用されることを期待します。

最後に短い期間ではありましたが、意義ある時間を過ごすとともに円滑な運営と安全な通信環境の確保を実現することができ、無事に終えることができました。ワイヤレスマイクに関する多くの方々のご理解とご協力がなければ実現できなかったことと、心より深く感謝申し上げます。

今後の皆様のご活躍、さらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。

無線局免許状のデジタル化について

令和 7 年 10 月 1 日(水)、「無線局免許状」がデジタル化されました。従来は総務省から紙の免許状が交付され、これを備付ける必要がありましたが、デジタル化によりパソコンやタブレット上に電子免許状（免許記録）を閲覧・表示する方法となりました。

なお、既に手持ちの免許状については、10 月 1 日の施行日以後、従来の免許状と同等の「免許事項証明書」とみなされるので、特段の手続きをおこなわなくても、引き続いて特定ラジオマイクを運用できます。

●デジタル化前は？

総務省から紙の免許状が交付。これを備付ける必要があった。

●デジタル化後は？

＜完全デジタル化＞

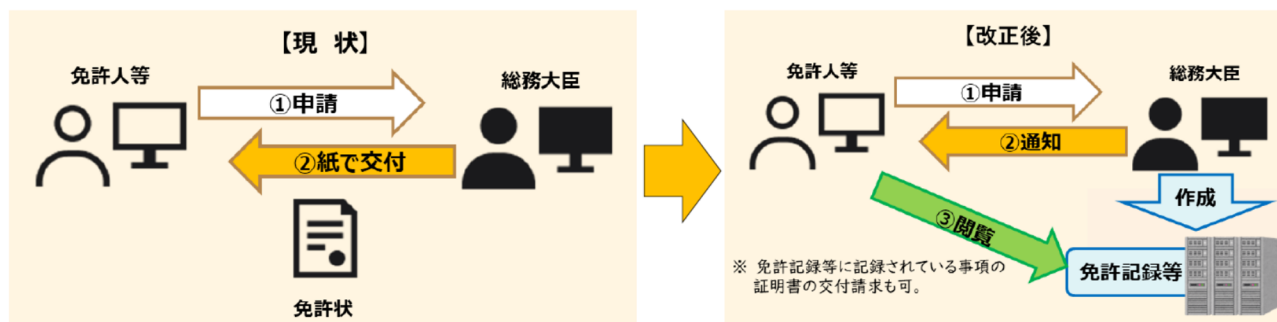
各会員にて「総務省電波利用電子申請」のアカウントを登録。マイページ上にて電子免許状（免許記録）が閲覧できるようになる。パソコンやタブレット上から電子免許状を表示できるほか、マイページ上からプリントアウト（A4 サイズ）したものを備え付けても可。

＜半デジタル化（特ラ機構へ免許申請依頼の場合）＞

特ラ機構へ免許の代理申請を依頼した場合、当機構の「総務省電波利用電子申請」アカウントから会員の電子免許状（免許記録）を閲覧。電子免許状の“写し”をダウンロードして、そのデータ（PDF ファイル）を当機構から会員へ送付する。会員は、電子免許状の写しのデータをパソコンやタブレット上から閲覧・表示する（写しをプリントアウトしたものの備え付けは不可）。

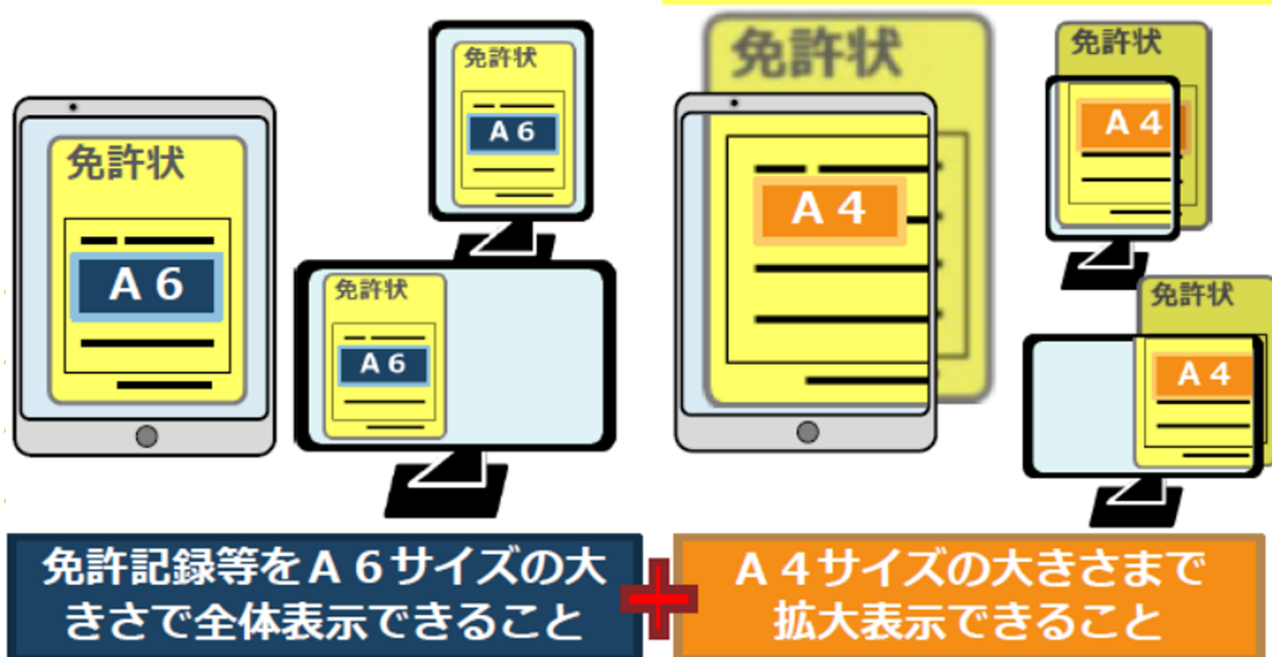
※ 新設・増設・再免許・変更のそれぞれの免許申請において、従来どおり、紙の証明書「免許事項証明書」の交付も希望できる（1 枚当たり 440 円）。

【無線局の免許状等のデジタル化のイメージ】



(例)アマチュア局以外の場合

※免許記録等を表示した際、別紙等がある場合は、それぞれのページが一覧性を確保して表示できればよいものとします。



総務省「無線局の免許状等のデジタル化等について」から転載

●手元にある免許状はどうなる？

既に手持ちの免許状については、10月1日の施行日以後、従来の免許状と同等の「免許事項証明書」とみなされるので、特段の手続きをおこなわなくても、引き続いて特定ラジオマイクを運用できる。

●デジタル化のメリットは？

1. 従来（紙の免許状）に比べて運用開始までの期間が短くなる。

免許された後、紙の免許状の送付から到着までの時間を省くことができる。

2. 従来（紙の免許状）に比べて免許申請の費用が安くなる。

現在の電子免許状の場合（総務省関係の費用のみ。電波利用料除く）

申請手数料 2,100 円 （1 局あたり）

従来の紙の免許状の場合（総務省関係の費用のみ。電波利用料除く）

申請手数料 2,550 円 （1 局あたり）

3. 紙の免許状を保管する必要がない。

電子免許状を Web 上から閲覧・表示、もしくはダウンロードして備付けできればよいので、物理的な紙を保管する必要も紛失する心配もない。

●デジタル化のデメリットは？

1. 「総務省電波利用電子申請」のアカウント登録が必要となる

アカウント登録には本人確認情報（「G ビズ ID」または「電子証明書」）が予め必要。

2. 当機構へ免許申請を依頼する場合は「電子委任状」が必要となる

当機構へ免許申請を依頼する場合の委任状について、従来は紙に住所や社名等を記入するだけであったが、デジタル化後は「総務省電波利用電子申請」上にて、電子委任状を作成する必要がある。

3. 「総務省電波利用電子申請」のアカウント管理が必須

「総務省電波利用電子申請」のアカウントについて、ID やパスワードなど、確実な管理や引き継ぎが必要となる。

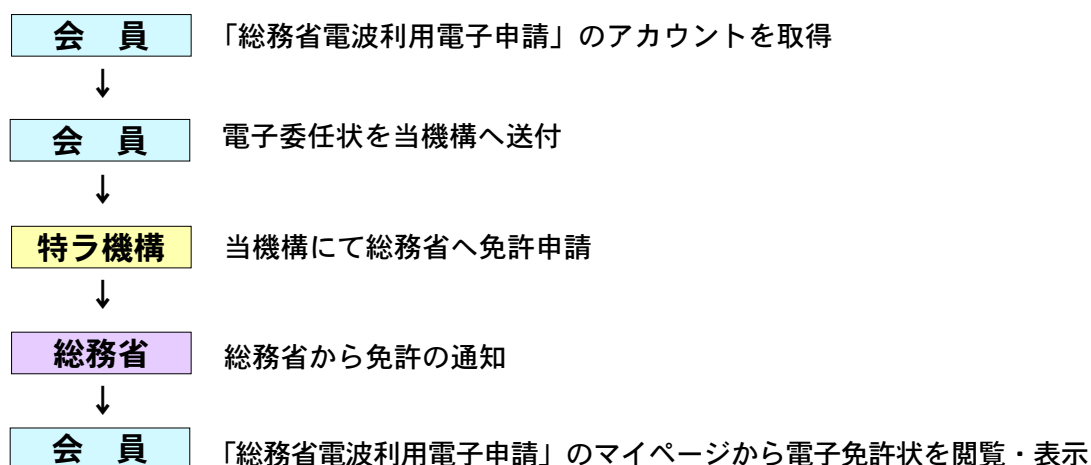
●今後の当機構の免許申請対応はどうなる？

「総務省電波利用電子申請」のアカウント登録をした会員については、電子委任状にて完全デジタル化での免許申請をする。但し、すべての会員が直ちにアカウントを取得することは難しいと考えており、しばらくの間は、半デジタル化（紙による委任状と電子免許状の写しのデータ送付）での対応をおこなう。

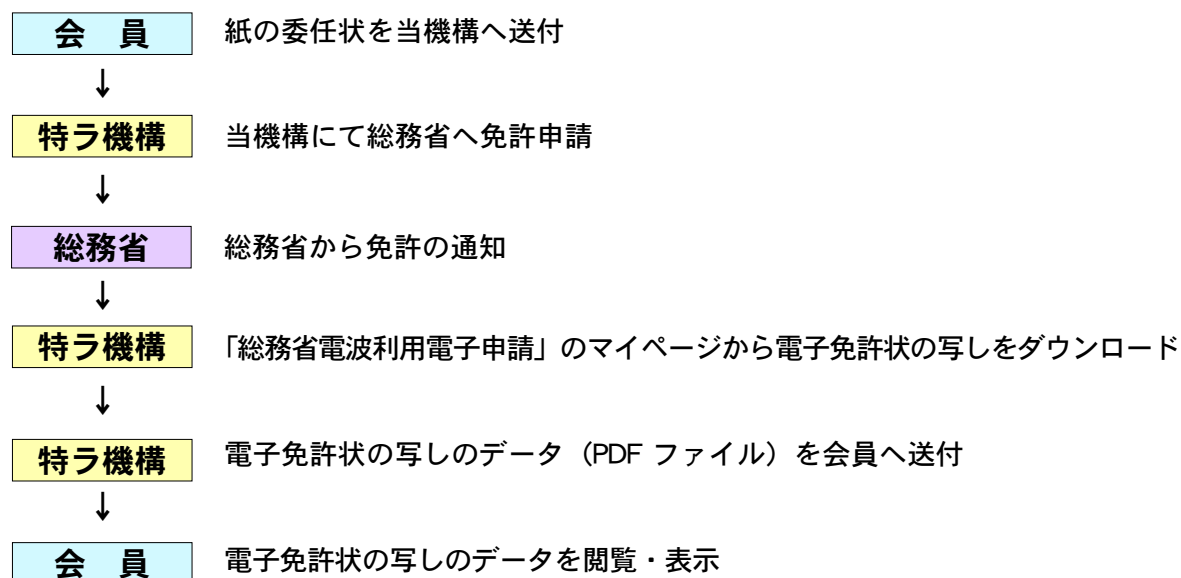
なお、当機構が会員の電子免許状を閲覧できるのは免許されてから 1 か月間に限られることや総務省の施策としては免許人（会員）自らが電子免許状を閲覧・表示できるような完全デジタル化を目指していることから、会員の皆様には「総務省電波利用電子申請」のアカウントを登録していただけるようお願いしていきたいと考えている。

●免許申請から免許状の閲覧・表示までの流れ

<完全デジタル化>



<半デジタル化>



○ 参考 Web サイト

総務省電波利用ポータル「免許状等のデジタル化」

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/proc/diglic/index.htm>

「総務省電波利用電子申請」

<https://www.denpa.soumu.go.jp/>

○ 本件に関するお問い合わせ

特定ラジオマイク運用調整機構 事務局 免許担当 電話 03-5273-9806

モータースポーツ無線協会からのご報告とお願い

TV ホワイトスペース帯等を使用する令和7年の国際レースに関しましては、9月末に開催されました『MotoGP』をもちまして、すべて終了いたしました。

運用調整を必要とする周波数に関しましては、おかげさまで、すべてのレースで問題なく使用することができました。改めまして、特ラ機構会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

来年も3月末に開催される『F1 日本グランプリ』を皮切りに、多数のワイヤレスマイクなどを使用するレースが幾つかございます。今年同様、皆様のご協力をお願い申し上げます。

まだ未確定ですが、現時点で極めて多数の周波数を使用するレースは以下のとおりです。

令和8年3月24日～3月29日 Formula 1 日本グランプリ（鈴鹿サーキット）

令和8年7月21日～7月26日 Formula e Tokyo E-Prix（東京ビッグサイト周辺）

令和8年9月29日～10月3日 MotoGP 日本グランプリ
（モビリティリゾートもてぎ）

使用する周波数が少ない他の国際レースにつきましては、通常の運用調整手続きをおこないます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

＜本件に関する問い合わせ先＞
モータースポーツ無線協会 田中
電 話：03-6402-2744
E メール：t-tanaka@mosra.jp

原稿をお寄せください！

「特ラ機構レポート」はみなさまの会報です。ご寄稿をお待ちしております。

ラジオマイクの技術や運用

研究、開発とまでいなくても「こんなことをやってみました」「こんな使い方もあります」などなど。みんなに知らせれば役に立つだろうと思われること。なんでもけっこうです。

映像、音響全般の技術や運用

ラジオマイクに限らずお寄せください。

こぼれ話

南から北から周辺の話題を拾ってください。観光宣伝でも舞台やイベントのこぼれ話でも、美味しいお店の紹介でも。ラジオマイクは全国を巡っています。

特ラ機構への意見

苦言、提言、気付かれたこと、なんでも結構です。組織・活動を充実させるため、前向きな建設的なご意見をお願いいたします。

寄稿は会員に限らず「特ラ機構レポート」をお読みの方ならどなたからでも受けいたします。

レポートに掲載させていただいたものには、些少ですが、原稿料を差し上げます。メールでの寄稿、大歓迎です。

Email : office@radiomic.org



事務局便り



令和 8 年 5 月末日に失効の 特定ラジオマイク無線局免許をお持ちの皆様へ

令和 8 年 5 月末日に失効する、特定ラジオマイク無線局の再免許（免許更新）準備の時期になりました。該当する会員様には、11 月下旬までに事務局から関係書類を郵送しますのでご確認ください。

※委任状等の必要書類は、必ず期限内にご返送頂きますようお願い致します

事務局免許担当／石川・渡辺きよたか・小西

■機構関係費用未納分お振込みのお願い

2025 年度（令和 7 年度）分機構関係費用をまだお振込みされていない会員社は、ご確認のうえ、振込をお願いいたします。機構関係費用は定款第 12 条（1）により、2 年の滞納で理事会審議、総会議決を経て通知退会（除名）になり、マイクが使用できなくなりますのでご注意ください。

